

モニタリング結果報告書

施設名 : 東高根森林公園

指定管理者 : 横浜緑地・西武造園グループ

施設所管課(事務所名) : 横浜川崎治水事務所川崎治水センター

(平成23年度 上半期)

管理運営状況総括

今期の指定管理者の管理運営状況(1~9の結果を踏まえ、判定してください)

C

- A : 提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。
B : 提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。
C : 提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。
D : 提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
4月	5月10日	5月24日	月報・現地確認等で、業務の実施状況について確認した。
5月	6月9日	7月7日	月報・現地確認等で、業務の実施状況について確認した。
6月	7月8日	7月26日	月報・現地確認等で、業務の実施状況について確認した。
7月	8月10日	10月7日	月報・現地確認等で、業務の実施状況について確認し、植物管理について助言した。
8月	9月12日	10月11日	月報・現地確認等で、業務の実施状況について確認し、園路補修について助言した。
9月	10月11日	11月2日	月報・現地確認等で、業務の実施状況について確認し、小破修繕の取組みについて助言した。

2 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績又は今後の見込みを記載する。

<提案内容の概要>

- ①魅力的で人気の高いイベントの継続実施
- ②閑散期の利用促進
- ③イベントや最新情報を積極的に広報PR
- ④東高根遺跡の詳細な解説資料を作成し配布する
- ⑤QRコードを活用した自然解説システムによるサービス提供
- ⑥地域と協働でノベルティーやキャラクターの開発

<実施状況>

- ①年間70回のイベントを開催し、アンケートでも高い満足の回答を得た。
- ②公募による夏の「花」「風景」、愛好家による冬の「鳥」の写真展を開催した。
- ③雑誌、観光機関等の取材に対応し、ホームページを随時更新した。また、地元自治会の掲示板等にイベント情報を掲示するよう依頼した。今後は民間商業施設の協力を依頼する。
- ④弥生時代の住居や衣服のレプリカを展示済み。今後は土器の展示などで、利用者の高い要望に応える。
- ⑤QRコードを貼り付けた植物名板を設置済み。今後も充実を図っていく。
- ⑥地域の人形作家によるキャラクターを作成し公表済み。今後もイベントで活用すること等で認知度を上げていく。

(継続用紙)

<提案内容の概要（今後実施予定のもの）>

- ①パークコーディネーターの配置
- ②ユニバーサルサービスによるイベントの実施
- ③地域と連携した企画の実施
- ④「(仮称)東高根図鑑」の作成

<実施状況（今後実施予定のもの）>

- ①パークコーディネーターを配置し情報収集を働きかけているが、具体的な実績がなく、今後はさらに地域との交流を深め、利用者のニーズをサービスに反映したり、公園管理運営の県民参加（協働）をコーディネートしていく。
- ②今年度は高齢者や障がい者向けの企画のニーズ、講師の調査を行っており、平成24年度から実施の見込み。
- ③今年度は公園協議会、来年度は地域自治会等に企画の募集を行い、平成24年度下半期から段階的に実施の見込み。
- ④今年度は掲載写真の選別や原稿作成など、発刊に向けた準備を行っている。平成25年度に発刊する予定。

3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収入額				支出額	収支差額
	収入合計	指定管理料	利用料金	その他収入		
年間予算額 今期	50,370	44,310	0	6,060	50,370	0
前期	50,160	44,100	0	6,060	50,160	0
上(下)半期 予算額	24,177	20,117	0	4,060	24,177	0
4月	2,980	2,262	0	718	2,202	778
5月	3,504	2,673	0	831	3,953	△ 449
6月	4,661	4,224	0	437	2,935	1,726
7月	4,044	3,541	0	503	3,406	638
8月	3,916	3,677	0	239	3,156	760
9月	4,276	3,737	0	539	4,146	130
今年度 半期計	23,384	20,117	0	3,267	19,798	3,586
前年度 同期計	24,375	20,192	0	4,183	19,925	4,450

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。
- 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ①年間予算額における収支差額が0でない場合は、その理由を記載する。
- ②今年度半期計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し詳細に記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ③今年度半期計における収入額又は支出額が前年度対比30%以上プラス又は、マイナスとなっている場合は、理由を分析し、詳細に記載する。

<意見等>

①該当なし

②上半期については、節電対策による光熱水費の減少及び残業の縮減等により人件費が減少したこと、6月に予定していた剪定等の植物管理を秋以降の休眠期に変更したことによる。

③該当なし

<参考>

本施設について県が支出した（する）修繕費等

30万円以上の修繕費等については、県が支出することと基本協定で定めている。施設の状態をよりの確に把握するため、県が支出した修繕費等についても参考に記載している。

- 1 県が支出した施設の修繕費等の金額及び工事内容を記載する。
- 2 「金額」欄は、半期ごとの総額を記載し、「工事箇所・内容」欄には、主な工事とその金額をカッコ書きで記載する。

	金額	工事箇所・内容
上半期	0	
下半期		
総額		

（今期に行った資本的な収入及び支出等の状況）

⇒該当なし

	内容	金額(千円)
収入の状況		
支出の状況		
積立等の状況		(期首)
		(期末)

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。

支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。

積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
4月	31,726人	33,636人	△5.7%
5月	32,557人	37,589人	△13.4%
6月	29,848人	31,092人	△4.0%
7月	26,039人	26,512人	△1.8%
8月	22,403人	22,441人	△0.2%
9月	25,888人	26,710人	△3.1%

	目標利用者数	利用者数	前年同月利用者数	目標対比増減率	前年対比増減率
今年度上半期計	なし	168,461人	177,980人		△5.3%
今年度下半期計					

利用状況に関する意見等

- ①今年度上（下）半期計の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由及び対応策を分析し記載する。（特に、理由の記載にあたっては、各月の状況を分析し、わかりやすく具体的に記載する。）
- ②目標利用者数を下回った場合は、その理由を記載する。
- なお、目標利用者数を定めていない場合は、未記入もやむを得ないが、次回以降は記入する。

<意見等>

①②該当なし

5 苦情・要望等の状況

受付件数（うち施設所管課受付分）

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
4月	6 (0)	(0)	(0)	(0)	8 (0)	14 (0)
5月	1 (0)	(0)	(0)	(0)	11 (0)	12 (0)
6月	2 (0)	(0)	(0)	(0)	12 (0)	14 (0)
7月	3 (0)	(0)	(0)	(0)	9 (0)	12 (0)
8月	1 (0)	(0)	(0)	(0)	9 (0)	10 (0)
9月	1 (0)	1 (0)	(0)	(0)	12 (0)	14 (0)
合計	14 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	61 (0)	76 (0)

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

（類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなど、特に注意すべき場合に記載する。

分野	概要	対応状況
施設・設備	・ベンチや休憩所を増やしてほしい	発生材の利用などでスツールの設置を検討する
	・案内がわかりにくい、名版を増やして	発生材の利用などで看板の設置を検討する
職員対応		
事業内容	・花がさびしい、雑草が多い	来年度の事業計画に反映することを検討中
	・池が濁っている	底層土改良剤の散布を実施し水質を浄化した
その他	・全面禁煙にしてほしい	利用状況を踏まえて喫煙区域の設定を検討する
	・ザリガニ釣り客のマナーが悪い	声かけ運動で対応していく

7 事故や不祥事等の発生状況

（利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
4月 13日	職員（74歳）が砂場の杭の高さを調整中、使用機械（グラインダー）の持ち手がずれ、自らの左足首を裂傷。救急搬送し、手当てを受けた後、当日中に帰宅。
9月 2日	来園者（68歳）が中央園路で転倒し、額に打撲、頬に擦過傷を負う。救急搬送し、CT検査の結果異常なし、手当てを受けた後、当日中に帰宅。転倒の要因となる園路の破損等がないか確認したが、異常は見受けられなかった。
月 日	
月 日	
月 日	

8 随時モニタリングの実施状況

〔 事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。 〕

⇒該当なし

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日			
月 日			
月 日			

9 下半期の所見等

〔 1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。 〕

指定管理者	<p>上半期は前年度に比し来園者数が少なくなりました。3月の東日本大震災の影響も少なからずあるかと思われますが、集客力を高めるため地域住民との交流や近隣施設との協働をより一層進めたいと考えています。</p> <p>また、来園者からの苦情・要望について適切に対応することも利用者数の増加につながると思われますので、下半期はこの点を踏まえて業務改善を行いたいと思います。</p>
施設所管課	<p>アンケートで「花がさびしい」「池が濁っている」「案内がわかりにくい」等の同じ要望を繰り返し受けることが多く、要望への対応が十分でなく、結果として収支差が大きくなっていると推測できる。また、指定管理期間が半分経過しても実施されていない提案内容がいくつかある。</p> <p>上半期は、県と指定管理者で管理運営全般について改善策の検討を重ね努力している。また、地元自治会等の地域住民と積極的に交流を進めている。</p> <p>イベント運営は利用者からとても好評であるので、今後はノウハウを発揮し、植物管理、防災訓練等に県民協働を取り入れるなど、地域との交流を深めることを期待する。</p>